

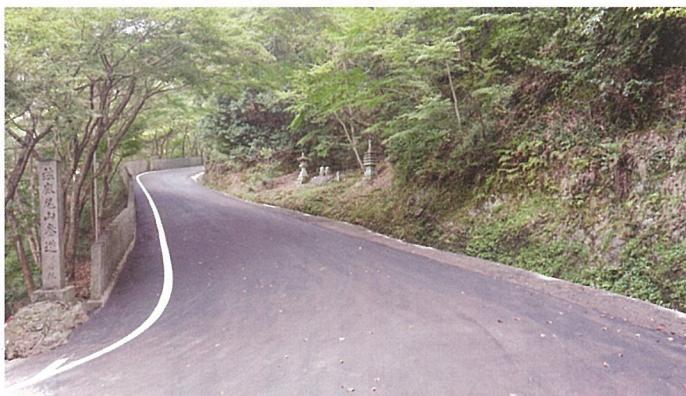


# 千の手

犬山  
おかんのん  
かんのん  
がが  
お尾観音  
寂光院

繼鹿尾山参道

## 「観音坂」修復完了



歴代住職の艱難辛苦を想う！  
  
寂光院は山寺でございます。ご来山される皆様方からいつも「このお寺はパリアフリーの配慮がなってない！」とお叱りを受けています。山寺の宿命です。とにかく寂光院の庫裡事務所まで、車一台がやっと通れる道路が開設されたのは昭和四十年だったそうです。この度「令和元年度九万九千日記念慈悲行」として観音坂の修復を完了できました。  
ご協賛いただきました皆様に感謝申し上げます。  
また、歴代山主の艱難辛苦に心からの敬意を表します。

**必ず終息・大丈夫という  
安心・新しい叡智に希望**

歴史を振り返れば、感染症も自然災害もその都度必ず乗り越えて、更に新しい時代を切り開く叡智を身につけました。今は大変な状況ですが、子どもたちには「大丈夫」という温もりのメッセージを送り続けたいのです。終息に向かって明るく前向きにこの難局を乗り越えることができますようご祈念申し上げております。

**区別と差別**

感染された人とは「区別は絶対に必要、差別は絶対に不要」、苦しみ悩みはお互いが分からなければ半減します。

**尊敬と感謝**

医療・防疫の最前線で献身されるすべての皆様方へ新薬開発に尽力されてみえるすべての皆様方へ社会生活を支えて働いて下さるすべての皆様方へ万感の尊敬と感謝、さらには御身お大切に従事されますことを祈念致しております。

**哀悼**

新型コロナウイルスで亡くなられました方のご遺族へ言葉もありません。謹んで哀悼の意を表します。

**祈願** 瘟病退散、世界安穏

新型コロナウイルスの早期終息を願い、日々ご祈祷申し上げております。はからずも感染された皆様には一刻も早いご回復をご祈念申し上げております。

山主 沢井 審

御本尊千手観音

## 千手觀音様は私達を祈つていて下さる

寂光院の本尊様は千の手・千の目を持つ「十一面千手千眼觀世音菩薩」です。その觀音様の本来のお手を「真手」といいますが、それは合掌しておいでになる両手です。私は二十六歳でこの寺の住職になりましたが、はじめはひたすら読経をしておりましたので何も考えていませんでしたが、しばらくしてその御前に立ち尽くして「そうか」と納得した事がありました。私は手を合わせて觀音様に祈るのでですが、私が背を向けてお堂を出たあと私の後ろ姿を合掌して祈つていて下さっている、いや、実は觀音様は二十四時間三百六十五日いつも祈つていて下さることに気付いたのです。その時「祈ることは祈られている自分に気づくこと」だと、確信しました。



千手觀音（本堂）

## 「祈ること」は

### 「祈られている自分に気づくこと」

犬山・寂光院山主

まつ  
だいら  
じつ  
いん  
松平 實胤

#### コロナ渦中の皆様へ

お寺でする仏事法事はすべて「供養」といいます。当然「大護摩祈祷」も供養です。さて、この「供養」ですが、原語であるインドサンスクリット語では「ブージャー」といいます。直訳すると「尊敬の気持ちを形で表すこと、感謝の気持を形で表すこと」という意味です。仏様に物品をお供えするとか、仏様に手を合わせて祈ることは「仏様への尊敬と感謝の気持を形」で表すことになります。

仏様への尊敬は世間一般の尊敬ではありません。「絶対信頼」です。仏様に祈ることは帰依する（おまかせする）ということです。未来は常に不確定ですから、不安や恐怖がつきまといますが、絶対信頼の「祈り」は祈る人に「安らかなる心」、「生きる勇気」を与えて下さいます。

仏様への感謝は、今ある自分が「自分以外の人・もの・環境」すべてに支えら

れ生かされて生きる、目には定かではありませんが「お陰様＝仏さま」に対する感謝の祈りです。感謝の祈りはその人の心を豊かに養います。

#### 仏様から祈られている

私達は日々に仏様に祈るのですが、祈る間のみならず、仏様は「いいかかる時も、どこにいても」私達を祈つていて下さる。いつも仏様は私達に良くなつてほしいと祈つていて下さるのではないか。縁あって頂戴した命だから、生きていて良かったと思えるような人生を送つてほしいと祈つていて下さるのではないか。そう気付かせて戴けた時、私は朝夕のお勤めで、「仏様の祈りに応えていく生き方ができるように」と祈つていて自分に気付きました。とにかく手を合わせて祈ると、怠惰で傲慢な私にも前向きに生きられる勇気と謙虚さが頂戴できるのです。（しばらくすると、またいつも怠惰で傲慢な私に戻るところが玉にキズですが……）

## 皆様お元気でいらっしゃいますか

いま世界規模でコロナの渦中にあります。行動の自粛が多く聊か窮屈で、不自由を感じます。私も、当たり前の生活、普通であることがどれほど有難いことを知らされた思いです。日本だけの終息はありません。世界規模で終息して初めて私達も安穏な日常生活を取り戻せます。そして必ず、早晚その日がやってきます。人類の歴史は疫病（感染症）との闘いでもありました。しかし、そのつど必ず克服して、更に次代を切り開く叡智を身につけました。日本は自然災害の多い国です。しかし、必ず復興しました。更にそのつど人と人との絆を深めました。このような非常時にこそ、心豊かに穏やかに過ごしたいものです。

### ご読経のおすすめ

皆様のお手元に寂光院の経本があるかと思います。折々にゆつたりとお唱え下さい。「般若心経」は、お唱えするだけで心を広く、大きく、そして、明るくさせます。「観音経」は祈りのお経です。お唱えするだけで、家族が、社会が、日本が、世界が、安穏になるようにという「祈りの力」となります。

### お写経のおすすめ

「般若心経のお写経」は、折れそうになる心に観音様が必ず「生きる勇気、生きる力」を与えてくださいます。はからずもこのコロナ渦中で亡くなられた皆様のご供養になります。

### お写経道場でのお写経

月例の「お写経の集い」は毎月第二・第四日曜日十時より聖徳殿です。またご都合のよろしい日をお気軽にお電話でご予約下さればお写経道場をご用意致します。

### ※ご自宅でのお写経のおすすめ

お写経用紙とお写経の手引を「郵送いたします。お気軽にお電話FAXでお申込み下さい。（返信用の封筒も同封いたします）

お書き上げの後、寂光院までご郵送下さい。

早速ご本尊千手觀音様に、皆様のお心をお供えいたします。  
くれぐれも御身お大切にして下さい。

合掌

## 人権講演会

於・犬山市内の中学校・小学校

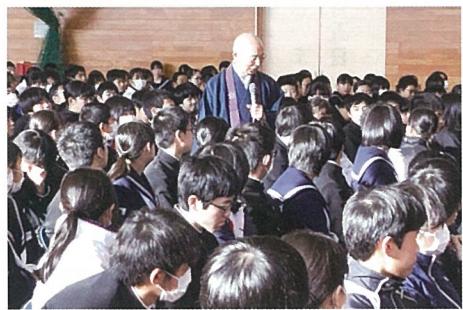
私は毎年※人権週間前後に犬山市内の小学校中学校を訪ねています。私は各分野、各年齢層の皆さまより講演を依頼されますが、生徒さんたちの前でお話をさせて戴けることが一番嬉しいです。当然言葉一つ一つに責任を感じます。そこで一般の講演会以上に精一杯の準備をしてでかけます。

「一番大切なものは命」、ではどうして命は大切なのか、「命」の不思議を一つ話します。生徒さんたちは「自分の命はこんなに尊いのか、みんなそれぞれの人の命はこんなに尊いのか」とメモを取りながら真剣に聞いてくれます。

生きることは苦しいこと辛いこと一杯あるけれども、「やはり生まれてきてよかったです」と思えるような人生を送ってほしいとの願いが伝わるといいと思ってお話をしています。

この人間社会、いじめや差別が後を立ちません。世界人権宣言が採択されてより七十年も立ちますが、世界中でエスカレートしています。区別と差別の違いを話しながら、「みんな違つてみんないい」、「ナンバーワンにならなくていい。みんな輝かしいオンライン」、どこかで聞いたようなフレーズで盛り上がり終わります。（今年も全生徒さんから感想文が寄せられました。私の宝物です。）

※一九四八年十二月十日第三回国連総会で「世界人権宣言」が採択されたことにより、一九四九年に法務省と全国人権擁護委員連合会が、十二月十日を最終日とする一週間を人権週間と定めている



## 御奉納 敬称略

書画家 小林芙蓉 「水」

施主 名古屋市 小川真愛



とにかく見事で筆舌に尽くしがたい「水」という作品ですが、「寂光院の展望台から眺めた木曾川の風景」に見えませんか？

木曾川の対岸（各務原市鵜沼）  
木曾川  
寂光院側（継鹿尾山）  
この書は庫裡大玄関に奉納されました。

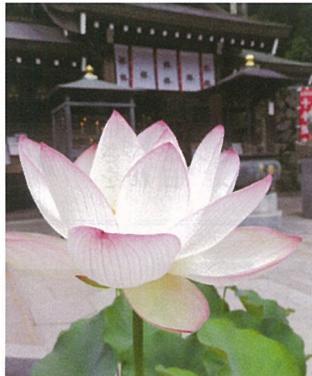
鉢植え

施主 関市 井戸 真知子



蓮華  
施主 各務原市 二宮 愛子

「寂光院山門」前の仁王像門柱に  
四季折々の鉢植えが絶えません。



### — お出かけ案内(月例行事) 仏教を体験する —

5日	10:30	なな 七七月まいり 隨求菩薩ご縁日 大護摩祈祷、やすらぎ法話
18日	10:30	なな 七七月まいり 千手観音ご縁日 大護摩祈祷、やすらぎ法話
第1日曜日	11:00	月輪観(瞑想) &写経 静かな仏前で本来の自分に出会うひととき！
第2日曜日	10:00	お写経〈般若心経を読む書く〉
	11:00	やすらぎ説法
第3土曜日	13:00	写仏教室〈仏さまを描く〉 講師 前田道雄先生(中日文化センター講師)
第4日曜日	10:00	お写経の集い〈般若心経を読む聞く書く〉

月輪観・お写経は上記に限らずいつでもご用意致しておりますのでお電話下さい(要予約)

今、寂光院では

コロナ渦中の昨今、三密を避けるということでどうか、登山参詣の方が目立つようになりました。思いつきり清浄な靈気を吸って、清新な自分を取り戻し、ご本尊千手観音様から「生きる力」を頂きたいと願う方々かと思います。  
当山も門戸を閉ざすことなく、毎月五日・十八日の「七七月参り・月例大護摩祈祷」では、本堂の扉や窓を全開にして換気に心がけ、清浄の空気のもと、三密を避けてゆつたりとお座り戴き、ご参詣の皆様にはマスク着用をお願いし、まずは「疫病退散、世界安穏、経済復興」を、そしてご参詣の皆様の「悪病退散、厄難消除、家内安全、家庭円満、商売繁盛、心願成就」大護摩祈祷を勤修しております。

## 寂光院・三大祭

### ◎一月十八日

#### 「初観音・大祈願会」

清新の靈気みなぎるお正月の十八日は「初観音」様と申します。観音様から一年のご加護と福德を授かる最上功德日です。吉例により特別大護摩祈祷を奉修して、世界平和を願い、皆様の家内安全、商売繁盛、所願成就を御祈祷申し上げます。

### ◎三月五日

#### 「秘仏観音・おいただき」

「おいただき」とは文字通り、両掌の上に秘仏千手観音様を頂戴することで、心に観音様をお迎えし、福德を招来するのです。日常生活では仏さまを手に載せる、あるいは、まじかに拝む機会はありませんが、一年に一度この日この時に、是非ご参詣下さい。



### ◎八月九日

#### 「九万九千日功德万倍日」

八月九日は、継鹿尾の觀音様にお参りすると、九万九千日の功德が戴ける日で、觀音様の最多功德日と申します。悪病や厄難を払い、福德を招来する特別大祈祷を奉修して、大護摩礼並びに福扇を授与いたします。



## 犬山八景 継鹿尾秋月【観月会】

継鹿尾山寂光院の本堂前から見る月は古くから犬山八景の一つに数えられ、「継鹿尾秋月」と呼ばれてまいりました。他の七景が環境の変化や都市化の波で今では全くその趣を失いましたが、今なお全山が国定公園でほとんど一〇〇年前と変わらない環境を伝承する継鹿尾山では中秋の名月は今なお犬山八景を代表する風景といつても過言ではありません。

そこで今年も「継鹿尾秋月」を本来の場所から眺めてみる観月会を開催いたします。おそらく古人が秋月のもとで雅楽を奏で、それに合わせて舞い唄つたであろう、そのような趣向も併せてご披露したいと考えております。現代に失われた神秘、幽玄の美を体感していただき、犬山の伝統美を再認識して戴くことになればと念じています。

春は花、夏青もみじ、秋は紅葉、冬凜として靈氣漂う  
県下最古刹 1360 年の歴史、国定公園という緑豊かな自然  
尾北隨一「春の爽やかな青もみじ、  
秋の雅なまでの紅葉樹林」に囲まれた

## もみじ樹木葬地



寂光院の「もみじ樹木葬地」は、寂光院が好きで自然志向の皆様方、お墓の継承や無縁化が心配とお考えの方、紅葉のもとで自然に還る、新しい形の永代供養墓です  
<詳細は寂光院事務所まで>



# 令和元年 九万九千日記念慈悲行

繼鹿尾山参道

## 「観音坂」改修・完了

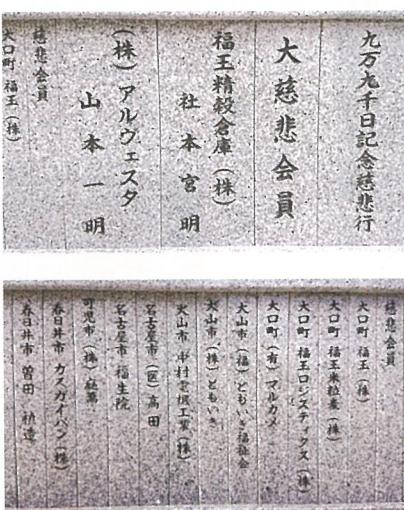
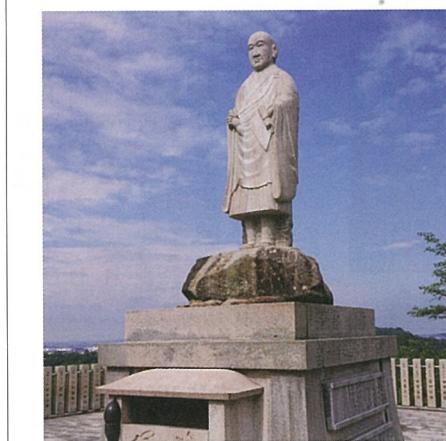
(表紙写真・参照)

この度左ページ各企業並びに篤信の皆様のご協賛により、大改修が完了いたしました。ここに衷心より御礼申し上げる次第でございます。

## 令和二年 九万九千日報恩感謝行

今年は令和初めての新年でしたが、早々より新型コロナウイルスの感染拡大が世界規模で始まりました。我が国も防疫、罹患者救済を第一に、医療・行政・私達の日常生活を支えて下さる各分野の皆様にご尽力を戴き、おかげさまで現在に至っております。尊厳ある人命を最優先するということで私達もお互いにできる限り防疫を心がける毎日でございます。

しかし、当然のこと、社会・経済・文化・各分野に大きな苦労を強いることとなりました。当山では毎朝、御本尊千手観音様の御宝前において疫病退散、世界安穏、経済回復を祈願させて戴いております。



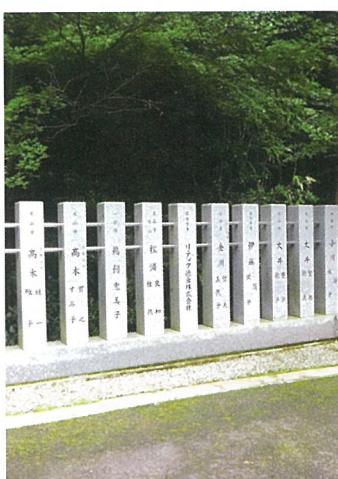
# 九万九千日記念慈悲行

大慈悲会員 慈悲会員 銘板

吉例・九万九千日記念慈悲行に大慈悲会員ならびに慈悲会員としてご協賛いただきました皆様のご芳名版は、絶景展望台（十二支恵当守り本尊靈場）の中心においてなる筆弘法大師の台座下に謹刻しております。なお、篤志会員並びに協賛会員様のご芳名版は法輪殿（参詣者休憩所）にご掲示しております。

## 玉垣建立のおすすめ

お申し込み受付中 !!



さてまもなく8月9日は吉例「九万九千日功德万倍日」でございます。  
本年は、長年快くご協賛賜り寂光院の発展に格別のご協賛を戴きました各企業様、篤信の皆様方への寂光院「報恩感謝行」としたいと存じます（恒例の「記念慈悲行」は当山の「報恩感謝行」に替えさせていただきます）。

来年8月9日「令和三年九万九千日」に新型コロナ感染が収まりました暁には何卒倍旧のご協賛のほど宜しくお願い申し上げます。

来る8月9日は、各企業様・篤信の皆様方が吉例の觀音様のご功德で、未曾有のこの難局を乗り越えていただきたく、熱祷申し上げる所存でございます。

寂光院山主 松平實胤

令和元年度 九万九千日記念慈悲行 順不同敬称略

◎大慈悲会員

小牧市  
株アルヴエスタ

◎慈悲会員

福玉精穀倉庫(株)

福玉(株)

福玉米粒麦(株)

福玉ロジスティクス(株)  
マルカメ

犬山市

(福)ともいき福祉会

中村電機工業(株)

カスガイパン(株)

名古屋市

(医)高田

福生院

可児市

曾田 福造  
春日井市

株庭萬

千の手

◎篤志会員

犬山市  
(株)キトウ商会

桑原木材(株)  
小島板金工業(株)

(株)新栄工業  
(株)東海SUNKIY

永井ビル  
(株)はぐろ薬局

(株)本多石材店  
(株)名古屋モウルド

(株)名古屋モウルド  
(資)うな久

(株)大金螺子製作所  
(有)大沢瓦店

(有)大野屋  
(医)木村内科

(キュー)ホールディングス(株)  
大昭運輸(株)

タイム技研(株)  
(株)吉香

田中産業(株)  
(株)シヤチハタ(株)

中山工務店  
(株)竹中工務店

名古屋鉄道(株)  
(株)原啓印刷(株)

(有)興和防災  
(株)吉田組

(株)八幡ねじ  
(株)鳥羽工産(株)

(株)ヤマワ  
(株)サンクリイット

一宮市

春日井市

各務原市

横浜市

犬山市

扶桑町

大口町

扶桑町

名古屋市

扶桑町

名古屋市

扶桑町

名古屋市

扶桑町

扶桑町

扶桑町

扶桑町

扶桑町

扶桑町

江南市 (株)アイチケン

◎協賛会員

犬山市 赤川商店

(資)犬山衛生社  
犬山建設(株)

犬山動物総合医療センター  
(株)岩田コーヒーフード

(資)うな久  
(株)大金螺子製作所

(有)大沢瓦店  
(有)大野屋

(医)木村内科  
(キュー)ホールディングス(株)

ごとう歯科  
白帆スタジオ

(株)シンエイライフ  
(株)タイセイ

東洋自慢酒造(株)  
(有)寅屋

花の香花園  
(株)藤原商店

美乃又住宅設備(資)  
(株)みやこや

(株)兼松  
(株)間瀬社会保険労務士事務所

朝日化工(株)  
(株)栗田商会

三栄商事(株)  
(株)坪井利三郎商店

(有)花貴久  
(株)鈴弥(株)

(有)ソウワ  
(株)さんぽーる

(株)柴田営業所

(株)三愛工芸

(株)三仲商事(株)

犬山市 堀江 英治  
名古屋市 谷津 義雄  
名古屋市 大橋 収身  
名古屋市 横井 敏雄  
名古屋市 松本 進平  
名古屋市 高橋 康譽  
名古屋市 小島 康譽  
東京都 横井 敏雄  
名古屋市 松本 進平  
名古屋市 高橋 康譽  
名古屋市 小島 康譽

玉垣御志納 順不同敬称略

十二支恵当守本尊・銘板 敬称略

丑年 春日井市 長谷川煌悠  
午年 犬山市 田中欽也  
未年 犬山市 田中欽也  
酉年 名古屋市 恒川琴海  
戌年 相模原市 恒川綾璃  
未年 曾田 翼

犬山市 渡邊初江  
大口町 徳永シズ子  
扶桑町 山田昇一・孝子

篤信御志納 順不同敬称略

## 千の手

## 寂光院友の会 千手会ご案内

千手会は寂光院に心を寄せて戴いている皆様の集いです

千手会にはわざらわしい制約は一切ありません  
千手会はすべて自由参加です 是非ご入会下さい

## 千手会申込書

(特典はホームページをご覧下さい)

正会員(一口三千円) 口 円  
賛助会員(一口三万円) 口 円

●護摩木ご志納 三〇〇円  
(お願いごと、お名前、お年を  
護摩木にお書き下さい)

(大護摩礼授与・ご郵送也可)  
●ご祈祷志納 五、〇〇〇円以上

●ご祈祷申込 当日の十時迄にFAXかお電話で  
●交 通 名鉄犬山遊園駅東口より直通バス運行

氏名 \_\_\_\_\_  
年 月 日 \_\_\_\_\_

おとし



## 内陣 特別参拝

## 月例大護摩祈祷〈祈りの淨火〉

毎月五日・十八日、午前十時半

〈この日、この時の吉縁〉

ご本尊千手觀音様の御前で、お願ひ事を  
淨書した護摩木を手に直接お参りできま  
す。そのあと、「やすらぎ法話」にもご参  
加いただけます。



「お護摩」の淨火で清新な  
自分を取り戻して、觀音  
様から「お願ひ事」を  
成就できる力を戴く  
ご祈祷です。

○ 五日 健康長寿 大随求菩薩縁日  
○十八日 一心祈願 千手觀世音縁日

・各十時半より、

・大護摩祈祷と松平實胤山主の  
「やすらぎ法話」

・犬山遊園駅より直通バスあり

## ご縁の日がご縁日

七七月まいりは「月参り」です。いつでも  
ご都合のよろしい日がご縁の日(縁日)  
【七七月まいり】の受付は年中無休です。

七七月まいり(心を養う)

七ヵ月お参りすると「大願成就」!!

寂光院への連絡方法	
①電 話	0568 (61) 0035
②F A X	0568 (61) 5953
③〒振替	00800-4-40664
④ホームページ	<a href="#">犬山寂光院</a> [検索]

発行所 愛知県犬山市継鹿尾山  
〒四八四一〇〇九一  
令和二年八月九日発行 (第五十八号)